

周防大島町の話題



▲卒業証書授与の様子

新たな門出を祝福

3月5日、大島看護専門学校で卒業式が行われ、18人の卒業生が学び舎を後にしました。

感染症対策など変化の多い3年間を、ともに励まし合い、支え合いながら過ごした学生たちの表情は、とても晴れやかで、式の中で代表者が「どんな時もこの学校での学びと初めて患者さんと接した時の思いを忘れずに、思いやりと責任感のある医療従事者になりたい」と決意を語りました。

春からは、看護師としてそれぞれの場所へ新たな一歩を踏み出します。

有識者意見交換会

3月10日、大島庁舎で有識者意見交換会を開催しました。これは、さまざまな立場の方から幅広く意見を聴き、町政運営に活かしていきたいという考えから、藤本町長自らが発案、招集を行い実施されたものです。

今回は、本年が大島大橋の開通50周年にあたることから、改めて橋の大切さを考える上で重要となる防災について、自由な雰囲気の中で意見交換会が行われました。

藤本町長は、「防災計画をはじめ周防大島町の課題についていただいたご意見を町政に活かしていきたい」と話しました。有識者意見交換会は、今後も引き続き実施していく予定となっています。



▲自由な雰囲気の中で意見交換を行う藤本町長と参加者の皆さん

竹資源の利活用に関する連携協定

3月16日、エシカルバンブー株式会社と周防大島町による「竹資源の利活用に関する連携協定」を締結しました。

これは、竹資源の利活用に関する事業の実施にあたり、緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、本町の地域振興に資することを目的としています。

今後は、周防大島町の竹の特徴を踏まえた周防大島町ならではの製品開発や、また竹林の整備等が図られ、適正な竹の管理につなげていくことで、自然災害への防災対策の一助となることも期待されています。



▲エシカルバンブー株式会社 田澤恵津子代表取締役社長兼CEOと藤本浄孝町長